

[E類ソーシャルワークコース 対象]

学校推薦型選抜 解答例

令和8年度

小 論 文

2014年7月に、国際ソーシャルワーカー連盟と国際ソーシャルワーク学校連盟の会議で採択された「ソーシャルワーク専門職のグローバル定義」において、「多様性尊重」はソーシャルワークの中核的原理の1つとして位置付けられた。今回の入学試験では、受験者が以下の3点について理解、主張できているかを把握することをねらいとしている。すなわち、①「多様性尊重」をめぐる現状と今日的な社会的課題を理解できているか、②ミクロ、メゾ、マクロシステムから、その実現のために必要な方略を考えることができているか、③「多様性尊重」に対し、「我が事」として取り組もうという主体的な姿勢が表されているか、である。ソーシャルワークコースで学ぶ者としてこの3点は欠かせない視点であり、理解力や文章力と合わせ、基礎的な思考力が備わっているか、また、入学後の教育に耐えうる人材であるかを把握することが本問の出題意図である。